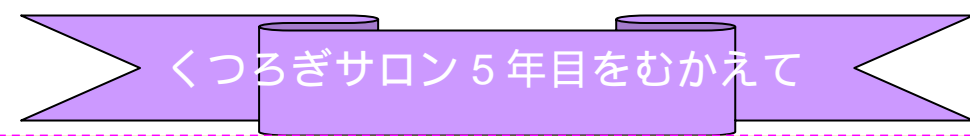


くつろぎサロン通信

2012年7月30日 第8号
発行 十和田市立中央病院内
がん患者と家族の会事務局



会長 坂下 優



いのちの落語家 樋口強さん

いのちの落語・講演会 『生きてるだけで金メダル』



会員やスタッフの方々と最後に一枚

十和田市立中央病院では今年のNPO法人キャンサーリボンス「がん支えあいの日」記念イベントを6月16日(土)13:00より「いのちの落語・講演会」として樋口強氏をお迎えし開催することが出来ました。当日は、梅雨に入る一歩手前の薄曇りの天候でありましたが、爽やかな緑濃い田園風景や、十和田現代美術館を楽しみながら市民の皆様や患者会、医療・福祉関係者等約150名が集ってくれました。メインテーマは“生きてるだけで金メダル”。多くの方々がこのフレーズに魅了されました。講演会・落語とも、樋口氏の闘病体験がリアルに、時にストレートな言葉の中に共感できるからこそ涙ぐんだり、笑いに誘われたり会場は大喝采でした。十和田ではなかなか生の落語を聞けることがないことから、非常に楽しみにされている方も多く、本格的な出囃子の笛や太鼓の音色が心地良く、エネルギーに満ち溢れた内容で、時間はあっという間に過ぎていきました。2人に1人ががん患者になるといわれている現代ですが、がんという病気に出会うと、当たり前のことが当たり前でなくなるという現実を抱え込まなければならない人は沢山います。だからこそ、普通の生活をするために“自分の生き方は自分で決める”との集約された言葉に、頷かれた方も多かったのです。小嘶から病院日誌、一診一笑の必要性など、笑うことでナチュラルキラー細胞が増え穏やかな朝を迎えられる、こんなことが大事なんだと気づかされました。また患者会“くつろぎサロン”においては企画、準備等に関わり、さらに樋口氏を囲んでの懇談は、思いを共有できるとても貴重な時間となり、次回へも繋げなければという感謝の気持ちで一杯になりました。

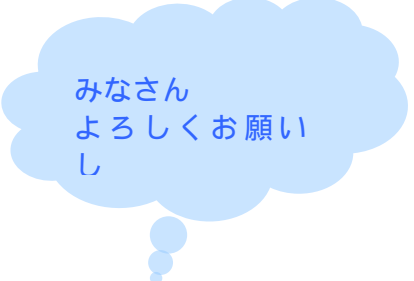
がん相談員 新谷 明子

今年度役員紹介

会長 坂下 優 副会長 中野渡 昭子 監査 野月 よし 桜田 キミ
会計 田嶋 敏子 事務局 新谷 明子 高野 眞弓

平成24年度年 活動計画

- 5/9 総会 5/18 下着相談会
- 6/16 いのちの落語 6/27 ケア帽子作成
- 7/11 がん検診についての勉強会 7/25 南部昔語り
- 8/8 がん検診についての勉強会 8/22 ケア帽子作成
- 9/12 南部昔語り 9/21 メディカルメイクとアロマ
- 10/ 野外活動 10/24 薬の勉強会
- 11/14 南部昔語り 11/28 役員会(クリスマス会打ち合わせ)
- 12/12 クリスマス会
- 1/9 ケア帽子作成 1/23 絵本よみきかせ
- 2/13 マウスケアの話 2/27 地域医療推進協議会の報告
- 3/13 今年度活動のまとめ



例会開催時間：13:30～15:00(変更のときもあり)
場所：十和田市立中央病院別館1階・医療情報センター

ミシン・アイロンの提供がありました

H24年度役員です

- ✿電動ミシン 有元 陽子さん(くつろぎサロン会員)
 - ✿アイロン 三上 キミ子さん(くつろぎサロン会員)
- ケア帽子作成のために上記の器材をお2人に提供いただきました。ありがとうございます。大切にみんなで使わせていただきます。



編集後記

今年5年目になるくつろぎサロンは6月に「いのちの落語・講演会」という大きなイベントを皮切りにがん検診についての勉強会やプロによるメディカルメイクなどを盛り込み、ますます充実した企画となりました。笑顔で前向きに素敵な毎日をすごせるようみなさんと手をとりあいながら進んでいけたらいいなと思っています。

問い合わせ先 十和田市立中央病院 がん相談支援センター(0176-23-2060 高野眞弓)